

競 技 注 意 事 項

1 競技は、2023年日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項による。

日本陸上競技連盟競技規則の規定に適合しないシューズの使用を禁止する。また、フィールド競技シューズ規則の適用除外期間(2024年10月31日まで)であることから、フィールド種目においては「靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない」の規定に合致しないシューズも使用を認めるが、WAへの申請はせず、記録は国内のみ有効となる。

WA競技規則CR18.5の規定により、TR6、16.5、17.14、17.15.4、25.5、25.19に違反があった競技者やリレーチームにYCを提示し警告を与える。この場合他の種目との合算は無く、種目ごとに累積し、種目ごとにリセットする。同一種目で2回のYCの提示を受けた競技者は、当該種目を失格とする。ただし、それ以降の他の種目の出場は可能である。YCを提示の累積は、当該種目のみに適用する。

2 招集場所は北側倉庫前とする。招集時間に遅れた場合は、当該種目を失格とする。

招集時間は、以下のとおりとする。

招集時間	開始	終了		招集時間	開始	終了
トラック	25分前	15分前		棒高跳	90分前	80分前
フィールド	50分前	40分前		混成トラック	30分前	20分前
走高跳	60分前	50分前		混成フィールド	40分前	30分前

混成競技1日目及び2日目の最初の競技は、競技時間の30分前に始め20分前に招集を終わる。但し女子七種競技の2日目は、第1種目が走幅跳のため40分前に始め30分前に招集を終わる。

3 リレーオーダー用紙は第1組の招集完了1時間前に招集所へ提出すること。(プログラムの後ろにある)

4 ポールは跳躍場において審判員が検査する。砲丸・円盤・ハンマー・やりは、各競技開始時刻の1時間前から招集完了時刻までの間、フィニッシュ側器具庫内で検査する。検査に合格した器具は競技場使用の器具として借上げ使用とする。スパイクの長さは9mm以下を使用する。但し、走高跳・やり投は12mm以下とする。

5 トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラムに示してある。但し準決勝以後は、主催者で抽選し決定する。

6 フィールド競技の計測ラインは、下記の通りとする。三段跳の踏切位置は、男子12m、女子9mとする。但し荒天の場合は審判長が指示する。

	走幅跳	三段跳	砲丸投	円盤投	やり投	ハンマー投
男子	6m00	/	9m00	20m00	42m00	20m00
女子	4m80	9m50	7m00	20m00	25m00	20m00

7 バーの上げ方は下記の表の通りとする。但し荒天等の場合は審判長が指示する。

性	種目	練習			競 技						
		1.60	1.75	1.85	1.65	1.70	1.75	1.80	1.83	1.86	以後3cm
男	走高跳	1.60	1.75	1.85	1.65	1.70	1.75	1.80	1.83	1.86	以後3cm
女	走高跳	1.30	1.40	1.50	1.35	1.40	1.45	1.48	1.51	1.54	以後3cm
男	棒高跳	2.60	3.20	3.80	2.20	2.40	2.60	2.80	3.00	3.10	以後10cm
女	棒高跳	2.00	2.50	3.00	2.00	2.20	2.40	2.50	2.60	2.70	以後10cm

男	八種走高跳	1.25	1.45	1.65	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	以後5cm
女	七種走高跳	1.15	1.30	1.50	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	以後3cm

- 8 トラック種目においてプラス出場者が決定数を越える場合、同記録者については、判定写真を拡大し、細部まで読み取り着差の判定をする。1000分の1秒まで同じで、レーンに余裕のない場合は本人または代理人によって抽選する。走高跳・棒高跳決勝で1位が複数出たとき、順位決定を行う。また6位(女子棒高跳は4位)が複数出たとき、代表決定を行う。バーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。
- 9 3位までの入賞者は、表彰をするので結果の正式発表(大型スクリーン表示)後10分以内に中央玄関ロビーへ集合すること。4位以下の賞状については各学校顧問が持ち帰ること。
- 10 6位までの入賞者及びリレーチームは、東海大会の申込書を作成するので、正式発表後直ちに中央玄関ロビーの東海総体受付係まで来て書類を受領し、手続きをすること。(但し、走高跳・男子棒高跳は6位6名まで、競歩は5位まで、混成競技、女子の三段跳・ハンマー投は4位まで、女子の棒高跳は4位4名までの入賞者)
- 11 東海総体出場が決定している者が同順位であった場合、東海総体番組編成のための順位を、顧問立ち会いの下抽選で決定する。
- 12 男子800m予選はオープンレーンスタートで行い、準決勝・決勝及び女子800mはセパレートレーンスタートで行う。
- 13 男女5000m競歩は競技運営上の理由から、競歩審判員が途中で競技を止める場合がある。男女とも35分を超えて次の周回に入らない。
- 14 男女5000m競歩においてレーンナンバーカードを渡すので、TICで受け取り、競技終了後、返却のこと。
- 15 競技場外における投てき物等を使用しての練習は禁止する。招集後競技場内で審判員の指示で練習する。
- 16 競技中におきた競技者の結果または行為に関する抗議は、該当競技者の顧問により、その種目の結果が正式発表されてから30分以内(次のラウンドが行われる種目では15分以内)に、TIC(担当総務員)に対して口頭でなされなければならない。(大型スクリーン表示終了時刻を基準とする。)
- 17 補助員は、8時に雨天走路へ集合すること。
- 18 各自の所持品の管理は、各自の責任とする。また更衣室・控え場所は必ず清掃し、ゴミは持ち帰ること。
- 19 撮影禁止エリア(巻末参照)におけるカメラ、ビデオ等の撮影を禁止する。
- 20 競技場(雨天走路を含む)および補助競技場内には、選手および競技役員以外は立ち入らないこと。
- 21 東海大会の申込は、5月24日(水)17時必着
〒502-0931 岐阜市則武新屋敷 県立岐阜商業高等学校 太田和憲 宛 へ申し込むこと。
(参加料、プログラム代、アスリートビブス代を含む)
- 22 リレー種目で東海総体の出場権を得た学校は、5月23日(火)17時までに、エクセルファイルにエントリーメンバーの登録番号、氏名、学年がわかるように入力し、下記アドレスに送信すること。様式は問わない。

送信先 内藤弘匡 メールアドレス p51067@gifu-net.ed.jp

参加校	男	60校	女	54校	計	61校
選手数	男	827名	女	475名	計	1302名